

事務事業名	高齢者生きがい推進事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	1	終了	
H27担当課等名	長寿支援課		H27係等名	長寿支援係		H26係等名	長寿支援係					
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり									
	施策	35	高齢者福祉の推進									
目的	対象(誰・何を)	60歳以上の市民						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	高齢者に様々な学習機会を提供し、新たな交流が広がり、生きがいづくりの推進を図る							60歳以上の市民の数		38458	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して生き生き暮らしている高齢者の割合										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	活動参加者数				250	237	220	220			
	定性目標											
事業概要	<p>高齢者のための、学習会、講演会、各種講座を開講し生きがいづくりと健康増進を図りグループの育成を行う *各教室とも、資料印刷など事務的な支援は求めに応じて行っていくが、特に財政面ではパソコン教室のみ支援で、他の教室は自主的運営で行っていく。</p>											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	<p>1 シルバーコース、ビデオクラブ、健康麻雀、三味線、書道、万葉カルタ会の自主運営教室は継続して開催。資料印刷、会員募集など主に事務的な支援を継続して行っていくが、基本的に自主運営の原則で活動していただく。 2 シルバーパソコン教室については、適宜内容を変更を加えつつ事業を継続。(1)パソコンの基礎を習得する教室を2回、(2)ワードを学ぶ教室を2回、(3)年賀状教室を1回実施予定。 3 市民からの新規立ち上げ希望には、適切な支援を行う。</p>					<p>教室数 1 自主運営教室 2 パソコン教室 (1)パソコンの基礎 開催数及び受講者数 (2)ワード教室 開催数及び受講者数 (3)年賀状教室 開催数及び受講者数</p>			<p>1 6教室 2 (1)2教室21人 (2)2教室12人 (3)1教室5回24人</p>			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		74	79	39	47							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		74	79	39	47							
人件費計(千円)②		858		858								
正規職員所要時間		240		240								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		932	79	897	47							
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>広報等にて各教室の新規会員を募集。会員が自主作成した会員募集チラシの配布に協力。パソコン教室は、受講者にアンケートを実施して検討し、24年度に開始したワード教室を継続して実施した。</p>											
改革改善の考え方	①問題点	参加者が増えない教室の維持。										
	②改革提案	参加者の自主的な取り組みを促し、市の関与を増やさないようにする。										